



四百年祭

連携事業

“寛永行幸四百年祭” 連携事業

“寛永行幸四百年記念” 講演会 和歌に詠まれた四季

四百年前の寛永3(1626)年、後水尾天皇は二代將軍徳川秀忠と三代將軍徳川家光の招きにより、二条城に行幸された。その行列には華麗な装いの、およそ9,000人もの人々が参加したという。饗応は五日間におよび、行幸三日目の夜には「歌会」が行われた。記録では、玉座の天皇を中心に將軍・親王・公家・武家たちが集い、和歌の家で知られた冷泉為頼は、三条西実条(さねえだ)らと共に最前列に座している。

日時 令和8年11月21日(土) 午後1時30分～3時

場所 京都府庁旧本館旧議場(上京区下立売通新町西入)

定員 80名(申込順)※参加費無料

講師 公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 常務理事 冷泉 貴実子氏



申込方法 電話のみ 申込先：075-414-5433(京都府総務部府有資産活用課)

申込期間 令和8年9月24日(木)～(定員となり次第、締め切らせていただきます)

主催：京都府 / 京都府庁旧本館利活用応援ネット

共催：環境省京都御苑管理事務所 / 内閣府迎賓館京都事務所

冷泉 貴実子 氏

プロフィール

出身地：京都市、冷泉家第 24 代為任の長女として生まれる。

家族：第 25 代冷泉家当主・為人の夫人。

学歴：京都女子大学文学部東洋史学科（日本史）卒業、同大学院修士課程修了（日本史専攻）

現在：公益財団法人冷泉家時雨亭文庫：常務理事として冷泉家の文化財や文献の保存・管理に尽力。

主な著書：『冷泉家 八〇〇年の「守る力」』（集英社）

『京の八百歳 冷泉家歌ごよみ』（京都新聞出版センター）

『花もみぢ冷泉家と京都』（書肆フローラ）など。

冷泉家は平安時代末期の歌人・藤原俊成、鎌倉前期の藤原定家の子孫であり、和歌の家として約 800 年間続く伝統を持つ。京都御所の北にある冷泉家住宅は、現存する唯一の完全な公家屋敷として知られる。

京都府庁アクセス



地下鉄

京都駅から市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車、または二条駅から市営地下鉄東西線乗車、「烏丸御池」で烏丸線に乗換え、「丸太町」下車、徒歩 10 分

市バス

三条京阪から 10 系統、京阪神宮丸太町から 93 系統、202 系統、204 系統、「文化庁前・府庁前」下車徒歩 5 分

- ・東門から入場してください。
- ・来場の際は、公共交通機関をご利用ください。